

【ささら銀鈴会】たより

ささら銀鈴会会長 山屋 貞夫

都内の染井吉野は、昨年より1日早い3月28日に満開を迎えましたが矢向公園の八重桜はまだ蕾の状態です。また、公園周辺遊歩道の桜もイマイチですが、4日の「花見の会」までにはまだ数日ありますので満開になって貰いたいものです。

なお、3月10日(火)に滝小3年生による校外実習が市公園課職員ら引率のもと矢向公園で行われました。これに公園愛護会が協力し、実際に熊手等を使用しての清掃活動を実施しましたが、この生徒達に、みんなが使用する公園を大切にしようとする気持ちが少しでも芽生えてくれれば幸いだと思えます。

【4月の行事予定】

【役員会】	4日(土) 10時00分～	自治会館
【花見の会】	4日(土) 12時00分～	自治会館
【ささら自治会定期総会】	5日(日) 10時00分～	滝の沢市民の家
【麻雀愛好会】	日程調整中	
【手芸の会】	18日(土) 13時30分～	自治会館
【防犯パトロール】	今月はお休みです。	

閑話休題

先般、戸塚区の柏尾川沿い桜並木の保全再生事業がテレビで放映されていましたが、日本各地の多くの桜並木が寿命を迎え消滅の危機に瀕しているようです。矢向公園の八重桜しかり、また、小糸川沿いの紅枝垂れ桜も寿命を迎えています。この現象は桜ばかりではなく、ケヤキ大通りのケヤキ並木も同じでこれを再生するのも大変で、特に街路樹は、伐採するだけで1本20万円、植え替えるためには残った根を掘り返さなければならず、これには重機が必要で大変な手間がかかり100万から150万掛かるそうです。

当然、市の財政を圧迫するため思う様にはいかず、戸塚区では、NPO法人が中心となりクラウドファンディングを行い2,000万近い資金を集め再生事業に資しているようですが、きれいな街並を維持するには地域住民の地道な支援も欠かせないと認識を新たにしました次第です。